

南丹市長選挙 新市長に

佐々木

稔納氏



5月2日 初登庁した佐々木市長

前市長の辞職に伴う南丹市の市長選挙が4月30日執行され、佐々木稔納氏が南丹市の市長に選ばれました。市長選挙に立候補したのは、届出順に農業・井尻勇助氏、前園部町収入役・佐々木稔納氏、前南丹市参与・奥村善晴氏の3氏。投票は市内の68カ所の投票所で実施され、投票率は69.09%。開票の結果、佐々木氏が1万338票を獲得し、新しい南丹市長に就任しました。

四月三十日に執行された市長選挙は、二月十九日に就任した前市長が三月二十二日に辞職したことにより行われたものです。

市長選挙の投票は、市内の六十八カ所の投票所で午前七時から午後八時（一部短縮）まで行われました。

即日開票の結果、佐々木氏が一〇、三三八票を獲得し、当選を果たしました。

選挙当日の投票率は六九・〇九%、二月に実施された同選挙の八〇・五二%より低い結果となりました。

また、各投票所の投票率では、芦生公民館が最高で九三・一八%。続いて田歌集落センターが九〇・七七%、佐々里公民館が八八・八九%でした。

不在者投票は三七二票で、期日前投票は一、九九〇票でした。

開票は、午後九時半から南丹市国際交流会館で行われ、十一時過ぎに終了しました。

新市長の任期は、平成十八年四月三十日から平成二十二年四月二十九日までの四年間です。

いざいざい

南丹市長 佐々木 稔納

先般執行されました、市長選挙におきまして、皆様のご支援により当選の栄に浴させていただきましたことは、大変光栄に存じますと同時に身の引き締まる思いであります。

さて、南丹市が発足いたしましたして五カ月が過ぎましたが、まず、市政に対する市民の皆様様の不安を払拭し、一日も早い市政の安定をめざし、また、市政に対する信頼を得られるよう努力いたします。「誇りときずな 新しい 南丹市」の実現に向け、私たちは南丹市民としての誇りときずなを再確認して、より強固なものにすることが大切であります。そして輝き、希望あふれる新しい南丹市づくりには、市民の皆さんみんなが力を合わせていただくことが不可欠であります。

私も市政のリーダーとして輝く未来を信じて、皆様の先頭に立ち、汗をかき、まさに全身全霊をささげて市政推進のため全力を尽くしていく所存でありますので、市民の皆さんのご意見やご指導を賜ります。